

損と得

今年の夏は大変暑い夏でした。世界的に平均気温は高かったようです。夏が暑いと飲料、エアコン、衣料品等、消費が拡大し、景気が良くなると言われていますが、どうだったのでしょうか。今月は、「損と得」でお話します。

私も社会にでて20年を経過し、二十歳の頃と大きく変わったことが、あります。



専務取締役 吉田治伸

まず体重が増えました(なんと25kg。さすがにダイエット中です)。

髪の毛も減りました(昔からそんなに多くありませんでしたが)。

しかしながら、1番変わったのは、考え方です。

私は、若い頃、暇な日が大変好きでした。特に、上司のいない月曜日は最高です。だるい月曜日をだらだらと仕事しても誰にも怒られないなんて、「これでお給料もらってもいいの？」と最高に「得」した気分でした。逆に自分だけ忙しい時や働いても残業つかない時は大変「損」した気分でした。

20年たって今思うのは、全く逆だったという事です。暇な時に暇にしているのは、「損」だし、自分だけ忙しいのは「得」でした。仕事は多くの場合、人間関係で成り立っていますので、確実に誰かが見えています。「一生懸命やっている」と「さぼっている」の評価の違いは、ほんの些細な事から始まりますが、その後の仕事の遂行には、大きな影響があります。商売でも同じです。儲けたい気持が強いと繁盛しません。お客様は得できるところへ行くからです。儲けたいと思ったらまず損しないといけません。人間関係も同じです。相手を喜ばせてこそ、自分に喜びが帰ってくるのです。仕事というのは、単にお金を稼ぐ手段ではありません。人間関係や専門能力の幅を広げる場でもあります。案外、「損」だと思われる事をやってみると将来の大きな「得」に結びつく事がありますよ。

暑い日が続きますが、お体には気をつけて、ご自愛されます様お願い致します。